

設備工事情報シート	衛 生	Ⅱ－P－30	制 定	2007年4月1日
			改 訂	2015年3月1日
Ⅱ．メーカー情報	ステンレス(ワンタッチ式継手)		ベンカン編	

1. 目的・概要

住宅の給水および給湯配管に使用する一般配管用ステンレス鋼管用継手は、メーカーごとに使用部材および施工要領が異なっている。使用する継手およびその施工要領の認識不足による不具合を未然に防止するためには、施工前に採用する継手メーカーの配管接続方法を確認する必要がある。以下に（株）ベンカンのワンタッチ式ステンレス管継手の施工要領および施工のポイントを示す。

2. 施工手順およびポイント

(1) **パイプ切断と面取り**

① パイプを切断する。



必ず外側にバリの残らない工法を基準とする。
 ロータリーカッターでパイプを切断する。
 鋼管の管軸に対して直角に切断する。
 ※ロータリーカッターは、必ず「薄肉ステンレス鋼管用」を使用する。

【参考】ロータリーカッターはREX社製のRB30S、RB67Sを推奨する。

② 面取りをする。



パイプ切断面をリーマやヤスリ等で 0.3ミリ程度に面取りをする。
 ※リーマやヤスリは、ステンレス専用にしたものを使用する。
 もらい錆びの防止となる。

(2) **パイプ、継手の接続**

① 専用ラインマーカーで差し込み代をマーキングする。



全数、必ずラインマーキングする。
 アームタイプを用いてパイプに差し込み長さをマーキングする。

●各サイズの差し込み基準値 単位：mm

呼び径	13Su	20Su	25Su	30Su	40Su	50Su	60Su
差し込み基準値	37	38	40	43	48	51	53

② マーキングまでゆっくりと真っ直ぐに差し込む。



差し込みに際してはゴムリングにキズをつけないようにする。
 差し込み量が不足していると漏水を起こす原因になる。
 ※無理にパイプを差し込まない。
 ※シリコーンスプレーや水をパイプに塗布するとスムーズに差し込める。

③ 差し込み長さを確認する。



確認は、継手ひとつひとつを目視で行うようにする。

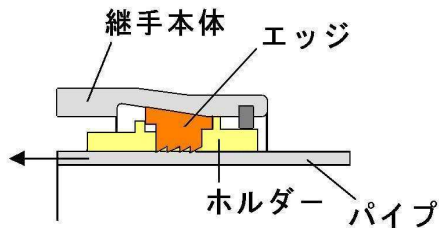
ラインマークまで十分に差し込まれていることを確認する。

資 料

3. ワンタッチ式ステンレス管継手の接合構造

(1)

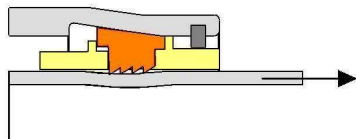
パイプ差し込み時



ホルダーに組み込まれたエッジがパイプ表面に食い込み抜け阻止力を発揮。

(2)

抜け阻止時



エッジは、継手内部のテーパ部で拘束されることで、パイプの抜け方向に対して くさびとなり、さらに、抜け阻止力を高める。

※エッジがパイプ表面に食い込む

4. 水圧検査 合否判定基準

(SHASE-S 010-2000、206-2000 抜粋)

※各継手接続部を目視で確認し、漏れが無い事を確認する。

系統名		試験水圧	
		試験圧力	最小保持時間
冷却水・冷温水		最高使用圧力の1.5倍とする。 ただし、最小0.75MPaとする。	30分
給水 給湯	直結	最小1.75MPaとする。ただし、水道 事業者に規定のある場合は、 それに従うものとする。	60分
	高置水槽以下	実際に受ける圧力の最小2倍とす る。ただし、最小0.75MPaとする。	60分
	揚水管	ポンプ揚程の最小2倍とする。 ただし、最小0.75MPaとする。	60分

※差し込み忘れなどを発見するために規定の試験を実施のこと。

5. 問い合わせ先

株式会社ベンカン

メカニカルジョイント事業部

営業所	電話番号	担当者
東京オフィス	03-3777-1531	塚本 高弘
札幌オフィス	011-232-1921	宮本 太
仙台オフィス	022-262-8471	庄子 錦一郎
名古屋オフィス	052-571-3270	佐藤 康之
大阪オフィス	06-6482-1851	掛川原 豊
広島オフィス	082-261-5205	鈴木 隆弘
福岡オフィス	092-724-0720	関口 敏雄

ホームページアドレス

<http://www.benkan.com>